プログラミング II 第 12 週

## 小テスト

**準備** プログラムを作る前に、以下の操作をしてファイルの準備をしておくこと。

```
    GitHub から自分のリポジトリを clone しておく (既に今日の授業で実行済みの場合は不要)

            mygitclone 「自分の GitHub ユーザ名」
            cd prog3i-(ユーザ名)
            ./myconf

    今回の小テスト用のフォルダを作って移動する

            cd ~/prog3i-(ユーザ名)
            mkdir test112
            cd test112

    テキストエディタでプログラムを開き、先頭行に C のコメントとして自分の番号と名前を書く
```

【問1】 以下を参考にして、整数の配列に対して操作するコマンドとして「値nである要素数を出力する」コマンド count を追加して下さい。ただし、コマンド clear, show, set, exit は既に実装されているものとします。

- array.lex に、コマンド「count」と識別子 COUNT の字句定義を追記する
- array.yacc に、このコマンドに関する構文を追加する コマンドの後に、NUMBER が1個続く
- myproc.h にこの演算で呼び出す関数のプロトタイプ宣言を追加する int count(int n);
- myproc.c に関数 count の定義を追加する 配列 a の 0 番目~9 番目に対する繰り返し処理の中で、i 番目の値と n を比較して、等しい要素数をカウントして、最後に出力する

最後に0を戻す

\$ gedit test112.c &

```
[実行結果]
$ ./a.out
clear
set 0 5
set 3 5
set 9 5
show
5 0 0 5 0 0 0 0 0 5
count 5
3
count 0
7
exit
```

**小テストの注意点** (20 点)

- 他人の力は借りずに、自分だけでプログラムを作成する。つまり、**通常の定期試験と同様**。
- 小テスト中は、**演習室外へのネットワークアクセスは遮断される。**

プログラミング Ⅱ 第 12 週

## 小テスト中に参照できるもの

- 教科書,配付資料
- 自分のホームディレクトリ(ホームフォルダ)以下に保存されているファイル
- \* 上記以外の情報を参照することは不正行為とする

(例: USB で接続された機器に保存されているファイルの参照,ネットワークを介した情報の参照など)

- 1. 提出する全てのファイルの先頭行に、C のコメントとして自分の番号と名前を書く
- 2. 端末内で、以下のコマンドで課題を提出
  - \$ git add -A
  - \$ git commit -m "小テスト 12 提出"
  - \$ git push origin master
- 3. 提出が完了しているかを確認したい人は声をかけて下さい。(その場で教員側の画面で確認します)

プログラミング II 第12週

int show();

## 【問1】の模範解答

```
int set(int i, int n);
//
                                                int count(int n);
//lex ファイル
                                                //myproc.c
"clear" return CLEAR;
                                                //
"exit" return EXIT;
                                                #include <stdio.h>
"show" return SHOW;
                                                #include "myproc.h"
"set" return SET;
"count" return COUNT;
                                                int clear()
"\n" return NL;
                                                    int i;
[0-9]+ {
                                                   for(i=0; i<10; i++) {
yylval = atoi(yytext);
                                                       a[i] = 0;
 return NUMBER;
}
                                                   return 0;
%%
//
                                                int show(void)
//yacc ファイル
//
                                                   int i;
%token NL NUMBER
                                                   for(i=0; i<10; i++) {
%token CLEAR EXIT SHOW SET COUNT
                                                       printf("%d ", a[i]);
%%
                                                    }
list :
                                                   printf("\n");
    return 0;
cmd : CLEAR
                       { clear(); }
    | EXIT
                        { exit(0); }
                                                int set(int i, int n)
    SHOW
                       { show(); }
    | SET NUMBER NUMBER { set($2, $3); }
                                                    a[i] = n;
    | COUNT NUMBER
                    { count($2); }
                                                   return 0;
%%
#include <stdio.h>
                                                int count(int n)
#include "lex.yy.c"
#include "myproc.h"
                                                    int r = 0;
                                                    int i;
//
                                                    for(i=0; i<10; i++) {
//myproc.h
                                                       if(a[i]==n) r++;
//
int a[10];
                                                    printf("%d\n", r);
                                                   return 0;
int clear();
                                                }
```